

★★★地域の情報について★★★★★★★★★★★★★★

令和6年度障害者週間記念イベント「hug はぐ hoick!」開催のお知らせ

今年も「hug はぐ hoick!」が開催されます。記念イベントとして地域の関係者からご支援を受け、作品展示、就労支援事業所の出店、ワークショップ、障害に関する啓発展示等、障害のある人もない人も一緒に参加し楽しめるイベントとなっています。皆様のお越しをお待ちしております。

■日時：12月14日(土)10:30~14:30

■会場：ヒロコ3階 イベントスペース

■内容：作品展示、ダンスショー、物品販売、ワークショップ等(予定)

■参加：無料

■問合せ先：実行委員会事務局(弘前市障害者生活支援センター)



弘前市障害者生活支援センター情報誌

ぷらっと

第233号
12・1月号

発行日
令和6年12月1日

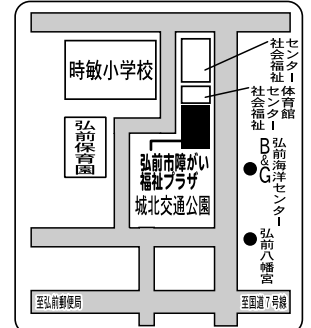
当センターは…診断や手帳の有無、障がい種別や年齢に関係なくご相談をお受けする総合相談窓口です。発達が見えにくいお子さんについてもご相談下さい。9・10月の相談件数は172件、相談実人員は40名でした。相談無料・秘密厳守ですので、お気軽にご相談下さい(匿名でもご相談いただけます)。

◆住所 弘前市大字八幡町1丁目9番地17(弘前市障がい福祉プラザ)(hirosaki-ssc@tenor.ocn.ne.jp)

◆電話 0172-31-2400 FAX 0172-31-2411

◆開館時間 9:00~17:00(開館時間以外は、バックアップ施設山郷館につながります)

◆休館日 毎週月曜日、年末年始 ※来所相談は予約をお願いします



ものづくり講座「硝子デコアート」

(10月16日実施)

Rin~輪~二木郁美先生にご指導いただき硝子デコアートに挑戦しました。硝子に描かれたバラの花に特殊な絵の具で色塗りをしていきます。赤に白や青を混ぜて出来上がりをイメージした絵具を混ぜ合わせます。赤、青、ピンクのバラと参加者夫々の好みが伺えます。所々にグラデーションをとり入れて色の変化を楽しめ絵柄は同じなのに、色塗りされると個性が光ります。塗りたてはマット感がありましたが乾くとステンドグラス調になるよう工夫されており、自然光ではオーロラ色に見える!?硝子デコアート初めてのチャレンジで心が躍ります。どれも素敵な作品となりました。



みんなの食堂「ひだまり」オープンしました

当センター利用の渋谷尚文さんが代表を務めるみんなの食堂(子ども、障がい者、大人)「ひだまり」が11月6日(水)中央公民館岩木館・視聴覚室にオープンしました。孤食の解消や、いつもと違う時間をすごしていただくために岩木地区にオープン。子どもだけでなく、障がい者も大人も利用できるからみんなの食堂です。岩木地区のみならず、ご参加いただけます。先着15名様参加費無料でとなっており、毎月1回の開催予定です。是非、ご利用ください。



~年末年始休館のお知らせ~

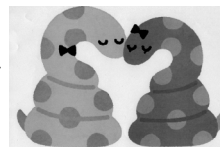
今年も皆さまにはお世話になりました。当センターは土手町を離れ、7月八幡町 障がい福祉プラザに移転となりました。休館日もこれまでの水曜日から月曜日に変更、アクセスにも大変ご不便をおかけしております。来年もまた引き続きご愛顧くださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。そして、皆様にとって素晴らしい一年になりますように心よりお祈り申し上げます。良い年をお迎えください。



休館日
12月29日(日)~1月3日(金)

編集後記

寒さも日毎に増します今日この頃。寒さが厳しくなるこの時期、インフルエンザや風邪予防に努めています。手洗いうがいなどで感染対策をしましょう。



勉強会 (11月6日実施)
「障害者総合支援法による障がい福祉サービス」

七峰会総合福祉相談支援センタービリーブによる出前講座を開催いたしました。障がい福祉サービスは障害者の生活を支援する有効な社会資源です。仕組みを知り、介護保険との違いについて学ぶことができました。参加者よりたくさんの質問があり会場は大盛り上がり。活気的な勉強会となりました。



ものづくり講座 (11月20日実施)
「絵手紙 年賀状に思いを込めて」

大切なあの人へ、今年も味のあるオリジナルな年賀状づくりを楽しみました。干支(へび)のお手本を見ながら描き文字を添えます。お一人おひとり思いを込めて『新年の門出を祝いする』と作成します。どれもとても素敵な出来上がりで『投函するにはもったいない玄関に飾る』と話される方もいました。

